

# 平成 27 年度 事業報告（概要）

## 1 総括

- 各施設の運営に当たっては、安定した収入の確保を図るとともに、効果的・効率的な事業執行に努め、法人全体として健全かつ安定した経営を維持した。なお、法人の会計については、新会計基準に基づく会計処理に移行し、適正かつ円滑に実施した。
- 法人の経営方針・経営理念を策定し、職員への周知・浸透に努めるとともに、階層別の本部研修や施設内外の研修等により職員の資質向上に取り組んだ。また、人材の確保、定着等に向け、雇用や給与等の抜本的な見直しや働きやすい職場づくりに取り組んだ。
- 直営施設においては、地域や関係機関との連携を図りながら、利用者の自立に向けた支援の充実、防災対策の計画的な取り組みによる利用者の安心安全の確保、就労支援事業での工賃向上に向けた取り組みなど、サービスの向上に努めた。また、施設の老朽化対策と利用者の生活環境の改善のため、大規模改修や設備の更新を行った。
- 指定管理施設においては、県施設の管理を適正、適切に行うとともに、多様化するニーズに柔軟に対応した質の高いサービスの提供に努めた。また、国、県等からの委託事業により、障がい者の就業と生活の一体的支援や、障がい者スポーツの普及・振興等に取り組んだ。

## 2 法人運営

### (1) 理事会の開催

第 1 回（平成 27 年 5 月 27 日）

- 平成 26 年度事業報告並びに収支決算について
- 平成 27 年度収支補正予算について

第 2 回（平成 27 年 8 月 5 日）

- 福祉工房いだい清風園大規模修繕工事について

第 3 回（平成 27 年 9 月 2 日）

- 平成 27 年度収支補正予算について
- 福祉工房いだい清風園大規模修繕工事の落札業者決定及び契約の締結について

第 4 回（平成 28 年 3 月 24 日）

- 平成 27 年度収支補正予算について
- 平成 28 年度事業計画並びに収支予算について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団定款の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団定款施行細則の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団職員給与等支給規程の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団経理規程の一部改正について
- 施設長の任命について
- 評議員の委嘱の同意について

### (2) 評議員会の開催

第 1 回（平成 27 年 5 月 27 日）

○ 平成 26 年度事業報告並びに収支決算について

○ 平成 27 年度収支補正予算について

第 2 回（平成 27 年 9 月 2 日）

○ 平成 27 年度収支補正予算について

第 3 回（平成 28 年 3 月 24 日）

○ 平成 27 年度収支補正予算について

○ 平成 28 年度事業計画並びに収支予算について

○ 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団定款の一部改正について

○ 任期満了に伴う役員の選任について

(3) 監査

平成 27 年 5 月 20 日 監事監査

3 施設の経営

○ 施設数 13 施設（直営施設 7 施設、指定管理施設等 6 施設）

○ 職員数 111 名 ほかに嘱託職員 113 名（28.3.31 現在）

○ 施設の定員等

施設区分		サービス／定員	
直営施設	しげのぶ清流園	生活介護 施設入所支援 短期入所	60 名 40 名 5 名
	しげのぶ清愛園	生活介護 自立訓練 就労移行支援 就労継続支援（B型） 施設入所支援 短期入所 共同生活援助	34 名 6 名 10 名 20 名 40 名 5 名 18 名
	道後ゆう	就労移行支援 生活介護 自立訓練 施設入所支援	15 名 35 名 20 名 40 名
	ほほえみ工房ぱれっと道後	就労継続支援（B型）	40 名
	どうご清友寮	宿泊型自立訓練 共同生活援助	20 名 28 名
	福祉工房いだい清風園	生活介護 就労継続支援（B型） 施設入所支援	40 名 15 名 50 名
	愛媛県社会福祉事業団 特定相談支援事業所 （ほほえみ特定相談支援事業所）	—	—

指定管理施設等	愛媛県立愛媛母子生活支援センター	20世帯
	愛媛県身体障がい者福祉センター	—
	愛媛県障がい者更生センター (道後友輪荘)	(宿泊)60人
	愛媛県視聴覚福祉センター	—
	えひめ障がい者就業・生活支援センター	—
	愛媛県障がい者スポーツ協会事務局	—

#### 4 各施設の取組み（概要）

##### ○ しげのぶ清流園

- ・ ユニットケア方式により、利用者のニーズに即して生活できるよう支援するとともに、明るく、楽しく、生きがいを持ち、安心して過ごすことのできるきめ細かなサービスを提供することで、魅力ある施設づくりに努めた。
- ・ レクリエーション活動について、利用者が自ら選択し、主体性を持って取り組む場面を設けることにより、生活の質の向上に繋げた。
- ・ 職員の職場定着支援に関する研修への積極的な参加等、職場環境改善に繋がる取組みを実施し、離職率の低下に努めた。

##### ○ しげのぶ清愛園

- ・ 利用者一人一人の主体性を尊重し、利用者がやりがいを持って、生き活きと日中活動できる環境づくりに努めるとともに、利用者の地域での自立を目指し、生活能力向上のための自立訓練や就労に必要な知識及び技術の向上のための支援を実施した。
- ・ 生活寮への自動火災通報設備の設置やショートステイ用居室の整備、タイムケア棟の増築を行い、利用者の安全確保と処遇改善、利便性の向上に努めた。
- ・ 就労支援事業においては、作業棟に新たな作業スペースを設置し、効率化を図るとともに、作業種目の拡大等により工賃の向上に努め、目標工賃を達成した。

##### ○ 道後ゆう（旧えひめ障害者支援施設道後ゆう）

- ・ 利用者のニーズに即したサービスの提供を行うとともに、教養講座等による社会適応性の向上や利用者の職場見学・職場体験実習の実施による就労及び定着支援のほか、機能訓練を積極的に実施することにより、地域生活への移行に努めた。
- ・ 昇降機及び非常用自家発電機設備の取替、大型乾燥機の設置等の大規模修繕工事を実施し、利用者の安心・安全の確保及び生活環境の充実を図った。

##### ○ ほほえみ工房ぱれっと道後

- ・ 就労継続支援B型事業所として、販売サービス科、クリーニング科、清掃メンテナンス科を就労の場として提供し、利用者一人一人の能力や障がいの特性に応じた就労支援及び職業訓練を行うとともに、自立した社会生活を送るために必要な生活支援を行った。
- ・ 新製品の開発、販路の拡大及び作業の効率化により、安定した収入を確保し、目標工賃を達成した。

## ○ どうご清友寮

- ・ 利用者の自立に必要な生活支援を行い、利用者 12 名について地域生活への円滑な移行を図った。
- ・ 企業及び関係機関との連携を密にして、利用者の職場定着等の支援に努めた。

## ○ 愛媛県社会福祉事業団共同生活援助事業所

- ・ バックアップ施設の職員と世話人が連携を密にし、利用者が地域で安心して暮らせるよう家事援助を行うとともに、就労や地域活動参加のための支援を行った。

## ○ 福祉工房いだい清風園

- ・ 利用者のニーズと適性に即したきめ細やかな支援計画に基づき、利用者が生きがいを持って生活できるよう質の高いサービスを提供した。
- ・ 浴室、トイレ、昇降機等の大規模修繕工事を行い、重度化・高齢化した利用者の生活環境の改善、安心・安全の確保を図った。
- ・ 就労支援事業においては、愛媛県産材を使用したオリジナル木工商品を製作し、道の駅で販売するなど工賃の向上に努め、目標工賃を達成した。

## ○ 愛媛県社会福祉事業団特定相談支援事業所

- ・ 地域及び施設で生活する障がい者のニーズに基づき、関係機関等との連絡調整を行い、サービス等利用計画を作成し、定期的にモニタリングを実施して、障がい者の生活の質が高められるよう努めた。

## ○ 愛媛県立愛媛母子生活支援センター

- ・ 入居している母子が、心身共に健康的な生活を送りながら、経済的・精神的自立を目指せるよう、生活全般にわたる助言、相談等の支援を積極的に行った。
- ・ 外壁タイルの改修のほか、児童活動で使用する玩具等の整備や各居室への整理ダンスの設置により居住環境の充実を図った。

## ○ 愛媛県身体障がい者福祉センター（旧愛媛県身体障害者福祉センター）

- ・ 「障がい者利用の促進」と「事業内容の向上」を目標に、関係団体との合同レクリエーション教室の新規開催、機能回復訓練の充実等、サービスの向上に努めた。
- ・ 平成 29 年度に開催される全国障害者スポーツ大会に向け、競技力強化のための教室、大会を継続的に実施するとともに、県内全域の障がい者スポーツの普及に努めた。

## ○ 愛媛県障がい者更生センター（旧愛媛県障害者更生センター）

- ・ 障がいのある方やその家族等が、気軽に安心して宿泊・休憩等に利用できる施設として、設備の安全管理や食品の衛生管理に最善の注意を払うとともに、快適なサービスを提供するため、設備の充実や接遇研修の実施による「おもてなしの心」を有する職員の育成に努めた。
- ・ 平成 28 年度からの障害者差別解消法の施行に向け、点字パンフレットを作成したほか、身体障がい者用の歩行器や聴覚障がい者用の呼び出しブザー等を整備した。

## ○ 愛媛県視聴覚福祉センター

- ・ 視覚障がい者及び聴覚障がい者の自立及び社会参加を促進するための拠点施設としての機能を発揮できるよう、利用者団体・関係機関との連携の下、きめ細やかなサービスの提供に努めた。
- ・ 視覚障がい者の生活訓練、情報の提供、聴覚障がい児の訓練、各種相談等、様々な事業の実施の

ほか、災害時における聴覚障がい者に対する情報支援者の確保並びに平成29年度に開催される全国障害者スポーツ大会に向けた手話通訳者及び要約筆記者の養成に取り組んだ。

- ・ 照明を順次LEDに取り替え、弱視の障がい者にとって必要な照度の確保を図るとともに、新たに聴力検査用の防音室を設置し、精密な検査の実現に努めた。

○ えひめ障がい者就業・生活支援センター（旧えひめ障害者就業・生活支援センター）

- ・ 地域で生活する就職や職場定着が困難な障がい者に対して、様々な関係機関との連携の下、就業面と生活面における一体的な支援を行い、相談支援件数、就職者数のいずれも年度当初の目標を達成した。
- ・ 新たに県から受託した障がい者マッチング事業においては、障がい者雇用に対する企業等への理解・促進に努めた。

○ 愛媛県障がい者スポーツ協会事務局（旧愛媛県障害者スポーツ協会事務局）

- ・ 障がい者スポーツの振興のため、障がい者スポーツ大会の開催など県からの受託事業を着実に実施するとともに、平成29年度に開催される全国障害者スポーツ大会に向け、障がい者スポーツの普及・啓発、指導員の育成に取り組んだ。
- ・ 日本障がい者スポーツ協会からの受託・共催により、障がい者サイクリング大会や障がい者スポーツフェスティバルを開催し、障がい者スポーツの理解・促進に努めた。